



2016年3月期 決算説明会

2016年4月28日
株式会社トプコン
代表取締役社長 平野 聡

Creativity & Growth 

2016年3月期決算説明会

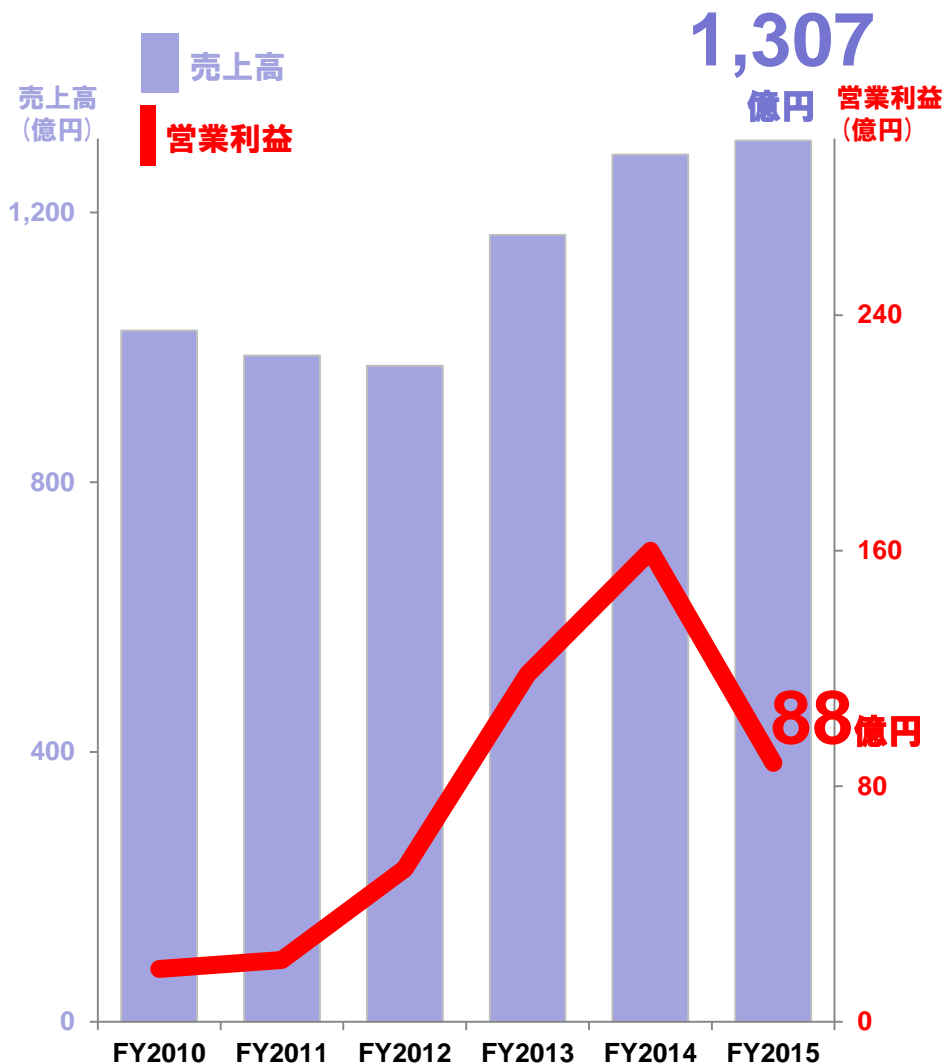
I 2016年3月期決算報告

II 2017年3月期決算計画

III 参考資料

I. 2016年3月期決算報告

FY2015の結果



全社: 増収・減益

ECC: 売上・利益共に堅調

POC/SIC:

市場の変化に対処したが
変化のスピードが予測を上回った

- POC: IT農業の停滞
原油価格下落
- SIC: 震災復興需要一段落 (日本)

POC=ポジショニング・カンパニー、SIC=スマートインフラ・カンパニー、ECC=アイケア・カンパニー

FY2015 実績

(単位: 百万円)

[連結]	FY2014	FY2015			2016年1月29日
	実績	実績	前年度比		公表値
売上高	128,569	130,735	2,166	102%	133,000
売上総利益 (売上総利益率)	66,269 (51.5%)	65,642 (50.2%)	△627	99%	
販管費	50,227	56,839	6,612	113%	
営業利益 (営業利益率)	16,041 (12.5%)	8,803 (6.7%)	△7,238	55%	12,500 (9.4%)
営業外損益	△1,161	△1,437	△276	—	
経常利益	14,880	7,366	△7,514	50%	11,000
特別損益	△1,865	△58	1,807	—	
税引前利益	13,014	7,307	△5,707	56%	
当期純利益*1	8,670	4,197	△4,473	48%	6,000
ROE	14.8%	6.9%			10%
ROIC	10.9%	5.4%			8%
年間配当(円)	16円	24円	8円		24円

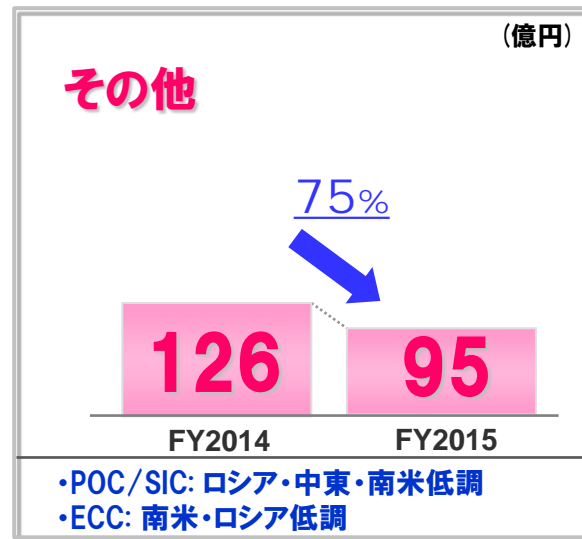
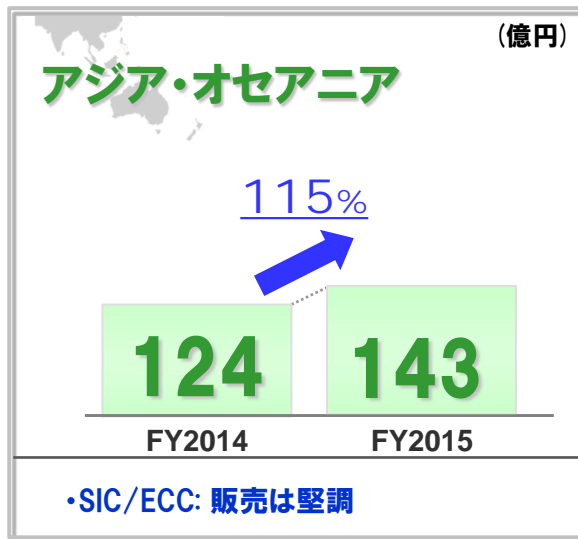
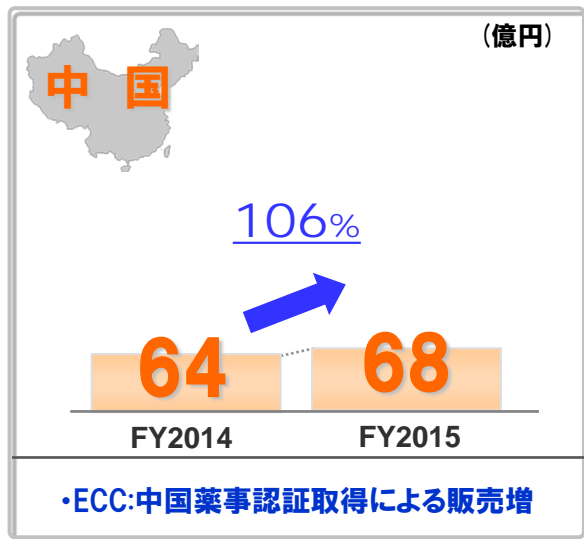
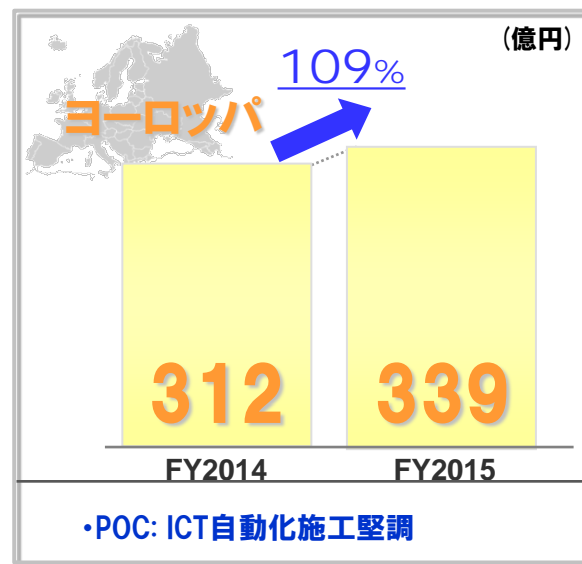
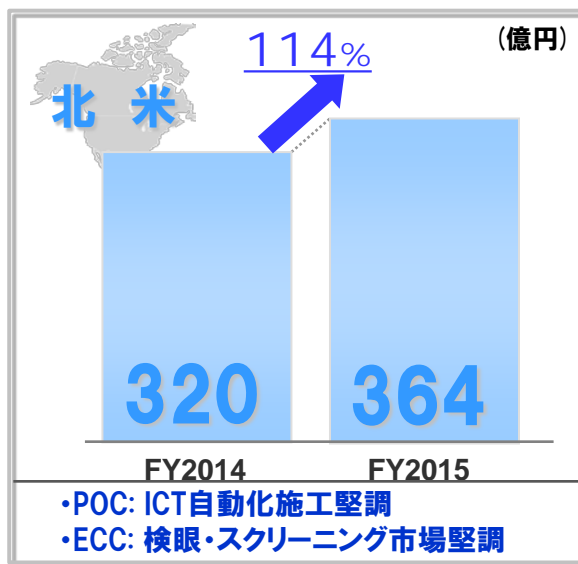
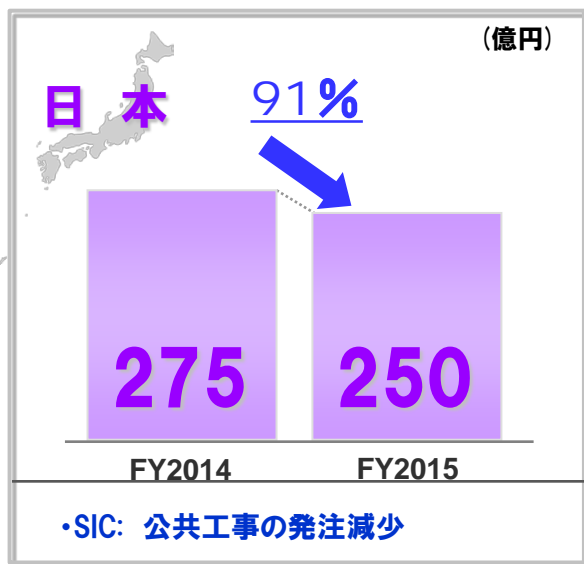
*1 会計基準の改正により、連結財務諸表では「親会社株主に帰属する四半期純利益」と記載されています。

FY2015 カンパニー別実績 <アイケアは堅調>

(単位: 百万円)

[連結]		FY2014	FY2015		2016年1月29日	
		実績	実績	前年度比	公表値	
売上高	ポジショニング	58,672	61,977	3,305	106%	64,000
	スマートインフラ	33,909	32,989	△920	97%	34,000
	アイケア	41,240	43,834	2,594	106%	44,000
	その他	6,558	4,997	△1,560	76%	5,000
	消去	△11,810	△13,063	△1,251		△14,000
	合計	128,569	130,735	2,166	102%	133,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	6,652 (11.3%)	2,385 (3.8%)	△4,267	36%	4,500 (7.0%)
	スマートインフラ	5,965 (17.6%)	3,909 (11.8%)	△2,055	66%	4,500 (13.2%)
	アイケア	5,093 (12.3%)	4,850 (11.1%)	△243	95%	5,500 (12.5%)
	その他	163 (2.5%)	196 (3.9%)	32	120%	400 (8.0%)
	調整	△1,832	△2,538	△705		△2,400
	合計	16,041 (12.5%)	8,803 (6.7%)	△7,238	55%	12,500 (9.4%)

国内・海外売上高(前年度比) <欧米、中国、アジアは堅調>



・ POC=ポジショニング・カンパニー、SIC=スマートインフラ・カンパニー、ECC=アイケア・カンパニー

(単位:百万円)

	FY2014 実績	FY2015 実績	前年度比 (%)
売上高	58,672	61,977	106%
営業利益 (営業利益率)	6,652 (11.3%)	2,385 (3.8%)	36%

FY2015の業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- IT農業市場への投資による新たな市場開拓 (Digi-Star、NORAC)
- 欧米建設市場においてICT自動化施工が堅調 (前年度比105%)
- テレマティックス市場開拓によるIoT事業への布石 (前年度比110%)
- 高精度GPS受信機搭載ドローンの売上げ (前年度比320%)

- ネガティブ・ファクター

- IT農業：農業市場の停滞長期化
- ICT自動化施工：OEM一時的停滞
- トータルステーション、GPS: (北米・豪) 資源価格下落の影響で停滞

(単位:百万円)

	FY2014 実績	FY2015 実績	前年度比 (%)
売上高	33,909	32,989	97%
営業利益 (営業利益率)	5,965 (17.6%)	3,909 (11.8%)	66%

FY2015の業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- **トータルステーション大型新製品の投入** (GT/iX 前年度4Q比120%)
- **LN-100 新たな用途の獲得** (杭打ち、現況、放射など)
- **インド市場の販売伸長** (前年度比190%)
- **3D計測ビジネス (Laser Scanner, MMS) の伸長** (前年度比140%)

- ネガティブ・ファクター

- **日本における震災復興需要一段落**
- **ロシア・中東・南米の市況低迷**
- **トータルステーションの発売遅れ**

(単位:百万円)

	FY2014 実績	FY2015 実績	前年度比 (%)
売上高	41,240	43,834	106%
営業利益 (営業利益率)	5,093 (12.3%)	4,850 (11.1%)	95%

FY2015の業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- ifa買収によるITソリューションへの布石（電子カルテ、遠隔診断）
- Triton投入効果でOCT販売押し上げ（販売台数前年度比110%）
- スクリーニング市場の大幅伸長（販売台数前年度比120%）

- ネガティブ・ファクター

- MaestroのFDA認可取得遅延
- 南米での現地通貨安長期化、売上成長鈍化

主な業績悪化要因

外的要因(影響額は為替除く)

POC:IT農業・資源価格下落の影響
(既存事業、売上80億円減)
SIC :震災復興需要の一段落
(売上20億円減)

内的要因

ERP経費増 15億円
一時的な費用発生10億円
(新製品開発促進・ifa買収)
新製品リリース遅延

当社で対処した施策

経費削減 前年度比10億円(含む人員削減100人)
対計画比25億円

結果 全社:増収・減益
ECC:売上・利益共に堅調
POC:増収減益
SIC :減収減益

POC=ポジショニング・カンパニー、SIC=スマートインフラ・カンパニー、ECC=アイケア・カンパニー

II. 2017年3月期決算計画

FY2016の市況見通し

マクロ環境

- POC :IT農業は底入れ感あるも停滞継続
原油価格底入れ感あるも資源価格は回復遅れ
- SI事業 :日本の公共工事は横ばい
ロシア、中東、南米の不透明感継続
アジア市場は堅調
- EC事業 :南米通貨安による市況停滞継続
欧米市場は堅調
- 為替 :円高傾向の継続

施策

経営体質の強化(拠点統廃合(特にPOC)、経営効率の向上)
基盤事業の収益向上(原価低減、調達コスト削減、機種統合)
成長事業の推進
(ICT自動化施工、IT農業、MaestroのFDA認証の早期取得)

業績見込 (前年度比)

売上高 :POCは減収、SI事業は横ばい、EC事業は伸長
営業利益:伸長を見込む

POC=ポジショニング・カンパニー、SI事業=スマートインフラ事業、EC事業=アイケア事業

通期業績見込

[連結]		FY2015		FY2016 (単位: 百万円)				
		第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計		通期		
		実績	実績	見込	前年 同期比 (%)	見込	前年度比 (%)	
売上高 ():FY15為替レート換算		62,933	130,735	61,000	97%	130,000	100%	
				(66,000)	105%	(139,000)	106%	
営業利益 (営業利益率) ():FY15為替レート換算		4,620 (7.3%)	8,803 (6.7%)	3,700 (6.1%)	80%	10,500 (8.1%)	119%	
				(4,800) (7.3%)	104%	(12,500) (9.0%)	142%	
経常利益		4,019	7,366	3,000	75%	9,000	122%	
当期純利益*1		2,426	4,197	1,400	58%	5,000	119%	
ROE		/	6.9%	/	/	8%	/	
ROIC		/	5.4%	/	/	6%	/	
配当		12円	24円	8円	/	16円	/	
為替 換算レート (期中平均)		US\$	121.50円	120.16円	110.00円	/	110.00円	/
		EUR	134.60円	132.36円	125.00円	/	125.00円	/

*1 会計基準の改正により、連結財務諸表では「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載されています。

事業別 業績見込

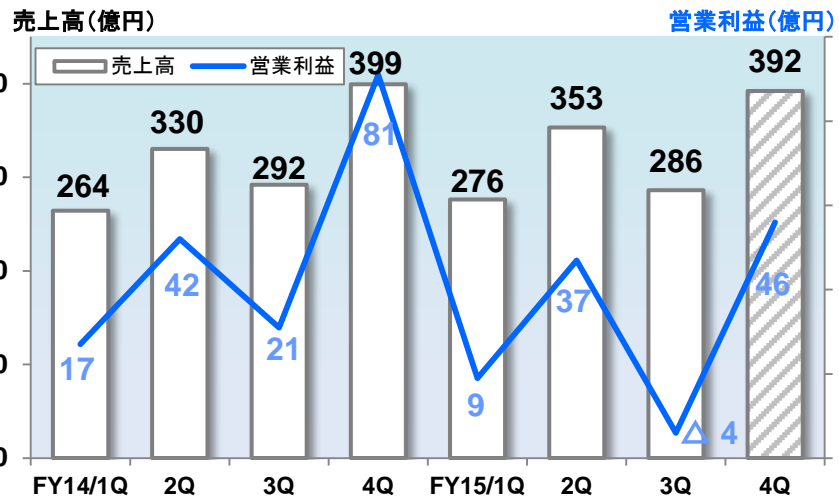
(単位: 百万円)

[連結]		FY2015		FY2016			
		第2四半期累計	通期	第2四半期累計		通期	
		実績	実績	見込	前年同期比 (%)	見込	前年度比 (%)
売上高	ポジショニング	31,445	61,977	29,000	92%	59,000	95%
	スマートインフラ	16,231	32,989	15,500	95%	33,500	102%
	アイケア	19,510	43,834	20,000	103%	45,500	104%
	その他	2,820	4,997	2,500	89%	5,000	100%
	消去	△7,073	△13,063	△6,000		△13,000	
	合計	62,933	130,735	61,000	97%	130,000	100%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	1,853 (5.9%)	2,385 (3.8%)	1,500 (5.2%)	81%	4,000 (6.8%)	167%
	スマートインフラ	1,883 (11.6%)	3,909 (11.8%)	1,500 (9.7%)	80%	4,000 (11.9%)	102%
	アイケア	2,058 (10.5%)	4,850 (11.1%)	2,000 (10.0%)	97%	5,000 (11.0%)	103%
	その他	94 (3.3%)	196 (3.9%)	—	—	200 (4.0%)	102%
	調整	△1,269	△2,538	△1,300		△2,700	
	合計	4,620 (7.3%)	8,803 (6.7%)	3,700 (6.1%)	80%	10,500 (8.1%)	119%

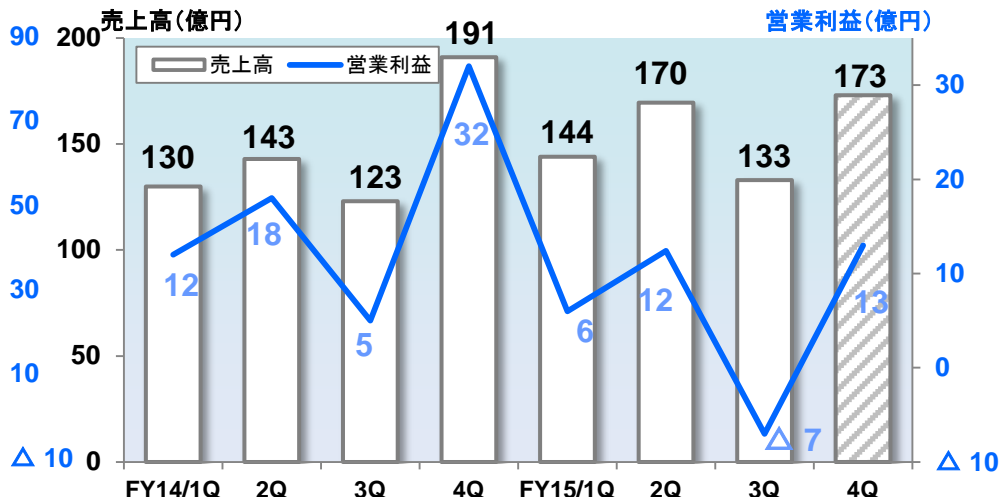
III. 參考資料

四半期別業績推移

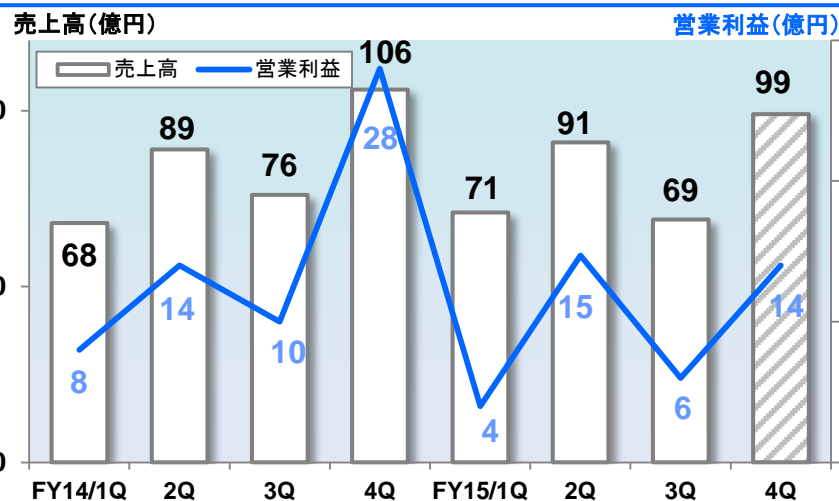
1. 全社



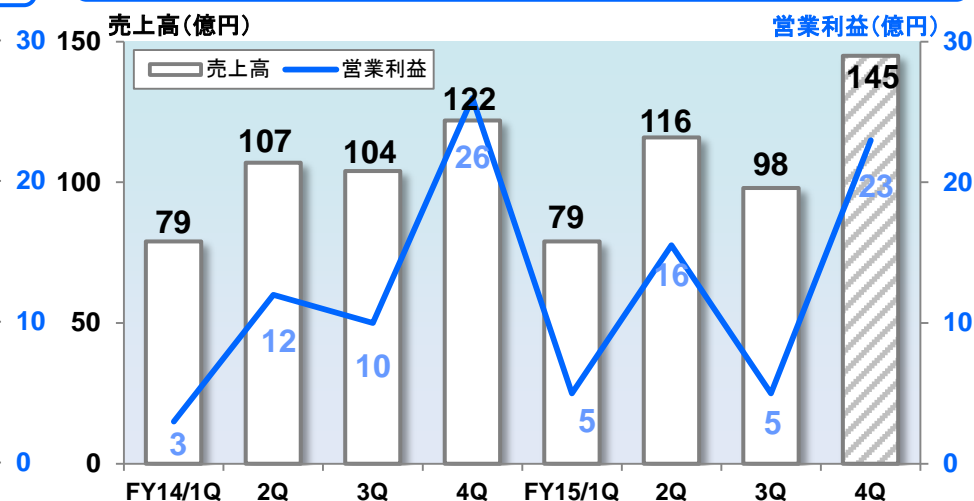
2. ポジショニング



3. スマートインフラ

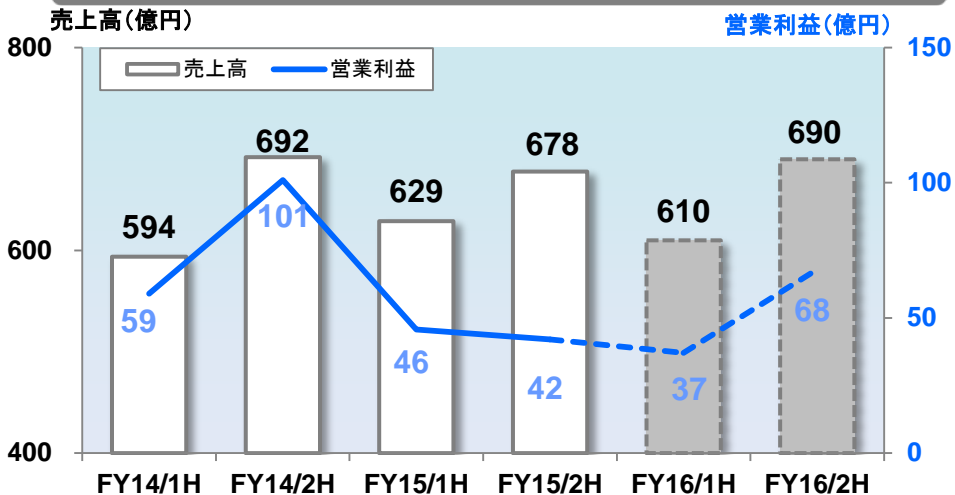


4. アイケア

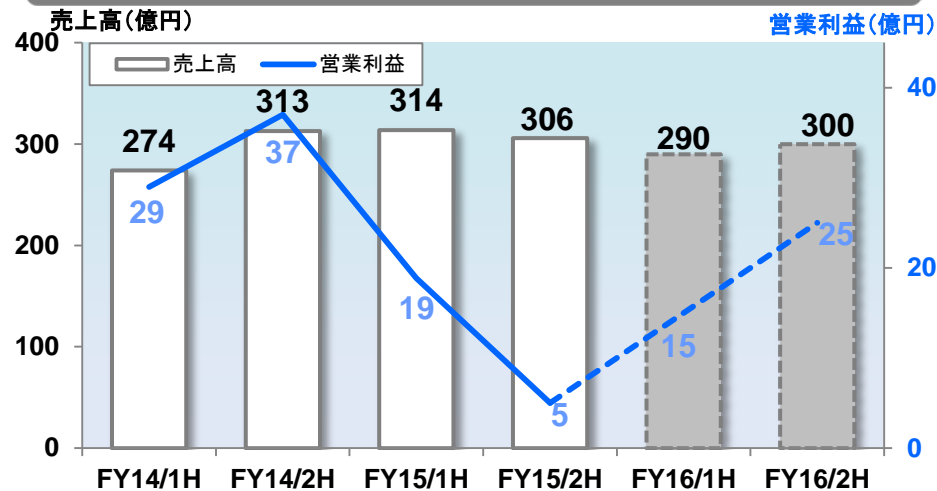


半期別業績推移・見込み

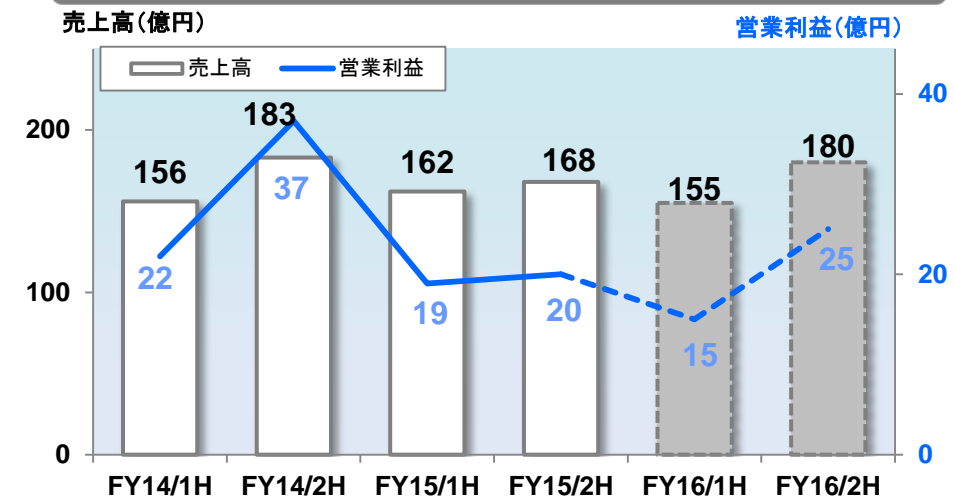
1. 全社



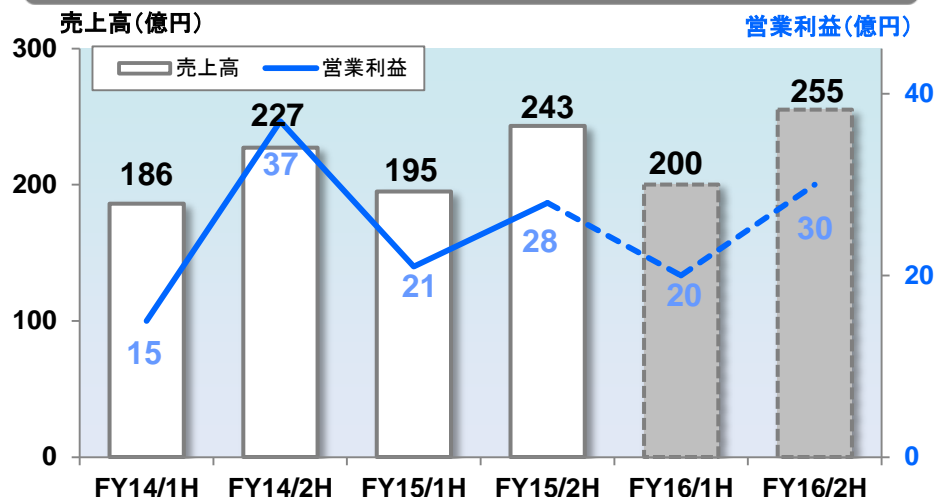
2. ポジショニング



3. スマートインフラ



4. アイケア



当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 総務・法務統括部 広報・IR・SR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <http://www.topcon.co.jp>